

第63回東日本カッター競技大会

期 日：令和7年12月06日（土）

令和7年12月07日（日）

会 場：高洲海岸東端の遊歩道

競技海面：東京湾北部海域（千葉県浦安沖）

主 催：全 日 本 カ ッ タ ー 連 盟

主管校：東 京 海 洋 大 学

参 加 校

東 京 海 洋 大 学 海 洋 科 学 部

東 京 海 洋 大 学 海 洋 工 学 部

日 本 大 学

防 衛 大 学 校

東京都立大島海洋国際高等学校

愛知県立三谷水産高等学校

会議日程

連盟会議	日	時	12月07日(日) 1540～1610
	場	所	本部テント
	参 加 者		大会参加各校顧問及び代表学生2名

全日本カッター連盟会長

神戸大学名誉教授 古莊 雅生

大会役員

大会会長	東京海洋大学	品川キャンパス男子端艇部顧問	内田 圭一
審判部長	東京海洋大学	品川キャンパス男子端艇部顧問	内田 圭一
実行委員長	東京海洋大学	越中島キャンパス男子端艇部主将	古東 佑二郎

大会支援

防 衛 大 学 校

1 公開練習 令和7年12月6日

(1) 実施予定時間

12月6日 公開練習時程

1130	公開練習諸注意
1200	公開練習第1陣開始
1250	公開練習第1陣終了
1300	公開練習第2陣開始
1350	公開練習第2陣終了
1400	公開練習第3陣開始
1450	公開練習第3陣終了
1500	大会当日諸注意、連絡会議

(2) 組み合わせ

各校到着予定時刻や、運営上の都合により以下の時間で公開練習を実施する。
開始時間の30分前に会場に集合し、10分前に点呼を完了すること。

公開練習第1陣

1コース 東京海洋大学海洋工学部

2コース 日 本 大 学

公開練習第2陣

1コース 東京海洋大学海洋科学部

2コース 防 衛 大 学 校

(3) 諸注意

大会海域周辺は、漁船や作業船の交通流が多い海域です。コースブイ周辺から遠く離れないように練習を行ってください。小型艇で周囲巡視にあたりますが、特に2コースの東側はあまり広がらないようご協力ください。

2 競技大会 令和7年12月7日

(1) 競技方法

2000m(1000mにて、回頭ブイ折り返し)をとう漕し、順位を争う。

(2) 使用艇及び櫂

9mカッター(東京海洋大学所有) FRP オール (東京海洋大学端艇部所有)

(3) レース

予選レースは2チームによるレースを3レース実施する。決勝レースは予選レースのタイム上位2校で実施する。。

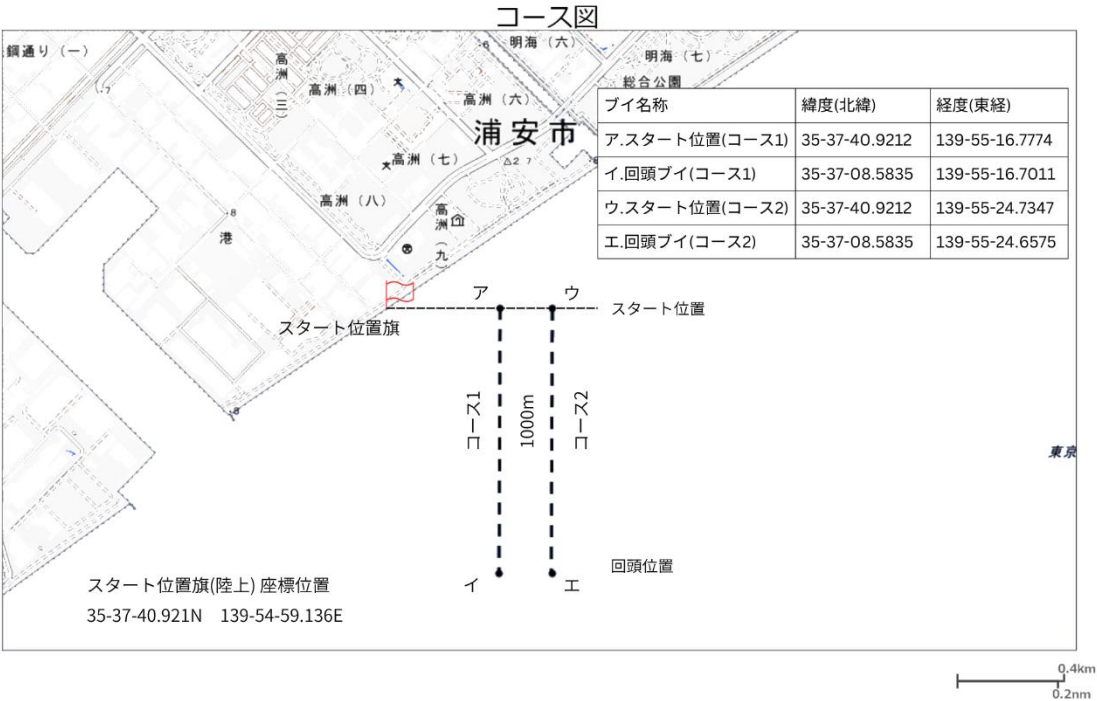
(4) 競技予定時間

12月7日 大会時程

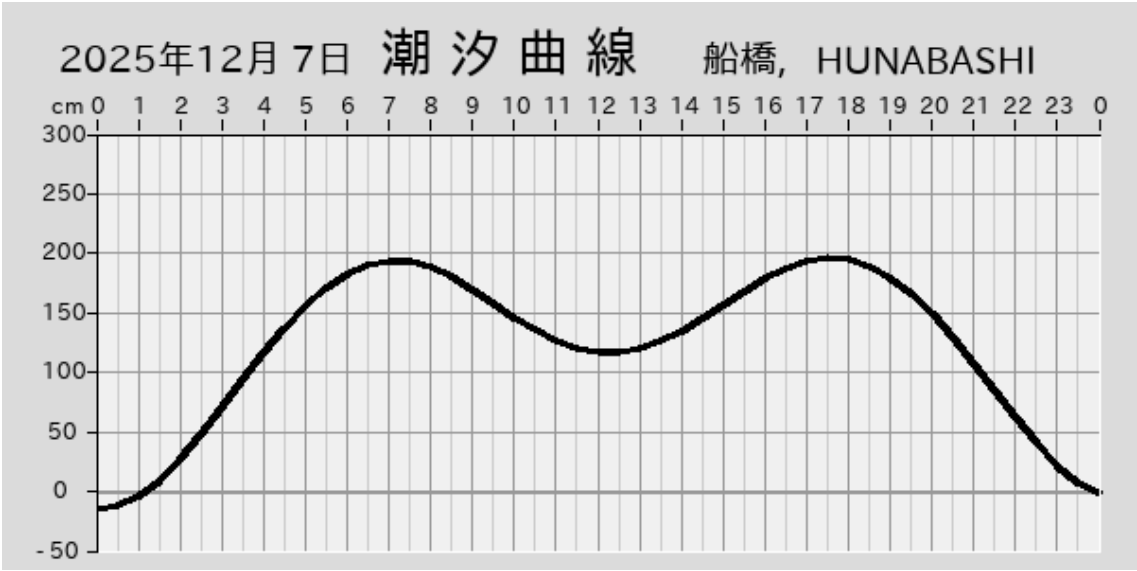
0900	開会式
0920	開会式終了
0930	点呼
0940	乗艇、出港
1000	第1レース開始
1030	点呼
1040	乗艇、出港
1100	第2レース開始
1130	点呼
1140	乗艇、出港
1200	第3レース開始
1330	点呼
1340	乗艇、出港
1400	決勝レース開始
1430	決勝レース終了
1500	閉会式
1540	連盟会議
1610	連盟会議終了後、解散

※洋上での結果発表が終わり次第、入港作業にかかる。

(5) 競技海面及び当日の潮汐潮流
競技海面図



潮汐・潮流



(6) 競技運営要領

ア 競技の進行

1 競技艇

(1) 点 呼

ア 各チームは、点呼までに搭載物件を受領（大会本部テント）し、境川河口岸壁にて点呼を受ける。（搭載物件及び名簿の確認）

イ 点呼後、係留岸壁に移動し出港準備にかかる。

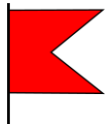
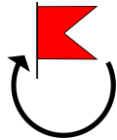
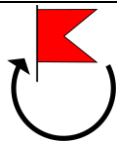
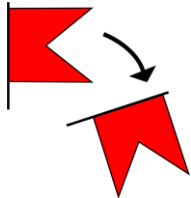
(2) 出 港

ア 競技役員の指示により、各チーム出港し、スタートラインへ進出する。

イ 出港後速やかに、機動艇審判班とのラジオチェックを実施する。

(3) スタート

スタートラインを通過する際は、機動艇審判班とスタート位置旗の間を通過する。ア・ウのブイの左側を航過するようにスタートする。

意味	発進用赤旗	審判班	競技艇
待機	 直 立	赤旗直立する。 なお、レース開始3分前から競技艇に対し、スタート位置付近に占位し、コース毎に並ぶよう促す。	レース開始2分前までにスタート位置付近に占位し、コース毎に並ぶ。
4 カウント	 円	両艇が白旗をあげたことを確認したら短笛2回の後に、赤旗で円を描く。それに合わせて短笛を4回等間隔に吹く。	赤旗を掲げてスタートライン前に進出する。準備ができたなら白旗を揚げる。
用意	 円	赤旗で円を描く。 その間、笛を鳴らし続ける。	
スタート	 振り降ろし	赤旗を振り降ろす。 笛とピストルを鳴らす。 この時にスタートラインを超えている艇がないか確認する。	スタートラインを通過する。

レース開始の際、機動艇審判班から赤旗による発進表示によるカウントダウンを実施する。

なお、レース開始合図以前に競技海面へ船体の一部でも入っていた場合は失格とする。

(4) 回 頭

競技艇は、指定された回頭ブイを左回頭する。

(5) ゴール

ゴールラインはスタートラインと同様とする。ゴールラインを通過する際は、機動艇審判班とスタート位置旗の間を通過する。ゴール後、審判班からの結果発表までの間、他艇の針路を妨害することのない安全な海域にて待機する。

(6) 異議申し立て

レースに関する異議申し立ては、レース終了後速やかに艇指揮が行う。異議のある艇は、赤旗を掲げて表明する。

(7) 帰 港

結果発表後、競技艇は速やかに入港する。

(8) 入 港

競技艇は、事前に示された岸壁に係留し、本部・進行班による搭載物件の確認を受けた後、艇指揮が人員器材の異状の有無を本部・進行班に報告する。

(7) 審判規定

ア 集合及び乗艇

(ア) 競技出場者

選手名簿によるものとし、出場者の変更は、審判部長がやむをえないと認めた場合を除き許可しない。選手名簿に記載されている漕手及び補欠の交代は自由とする。

(イ) クルー編成

艇指揮 1 名、艇長 1 名、漕手 1 2 名（合計 1 4 名）とし、レースでの艇指揮、艇長及び漕手の兼務は認めない。欠員については、漕手のみ可とする。

なお、艇員の性別は問わない。

(ウ) 競技艇搭載物件

FRP オール	1 4 本 (予備 2 本)	救命浮環	1 個
		ボートフック	1 本
トランシーバー (1 5 0 M H z)	1 台	舵 柄	1 本
		手 旗 (赤・白)	1 組
あかくみ	1 個		
旗 竿	1 本		

(エ) 識別旗

各出場艇は当該校の学章旗等の識別旗を艇尾旗竿に掲揚できるものとする。

イ レース

(ア) スタート

- a 先に示したスタートの合図により、競技開始となる。
- b ア・ウのブイの左側を航過しなければならない。また、スタート位置旗と審判艇を結ぶ線をスタート前に超えてはならない。
- c スタートが不完全の場合であっても、やり直しは行わない。

(イ) とう漕間

- a 競技中の障害及び艇の故障等は、各艇自らこれを忍ぶものとする。
- b 追い越し艇は、被追い越し艇を避けなければならない。また、追い越し艇は追い越しを終了した後も、被追い越し艇の針路を妨害してはならない。
- c 保安のため速やかに是正を必要と認めた場合は「警告」を与える。「警告」を受けた競技艇は、当該内容を了解したならば速やかに白旗を真上に掲げる。
(不明確である場合は、白旗を左右に大きく振りその旨を伝える。)

(ウ) 回 頭

- a 回頭は左回頭（反時計まわり）とし、回頭時にかい及び艇が回頭ブイに接触してはならない。
- b 回頭を先に開始した艇を優先艇とし、他艇は優先艇の進路を妨げてはならない。

(エ) ゴール

- a ゴールラインはスタートラインと同様とする。ゴールラインを通過する際は、機動艇審判班とスタート位置旗の間を通過する。ゴール後、審判班からの結果発表までの間、他艇の針路を妨害することのない安全な海域にて待機する。
- b 艇首がゴールラインに入った順序を以て順位とし審判する。
- c 同着の場合は、追い込み艇の勝ちとする。追い込み艇の判定が困難な場合は、遅れて回頭を開始した艇を追い込み艇とする。以上の判定でも困難な場合は同着とし、次位を空位とする。

(オ) その他

レース中のコース等における障害は、他艇の不正な接触を除くほか、各艇はこれを忍ぶものとする。

例：風潮、ブイの位置、他船の引き起こす波、漂流物等

ウ 失 格

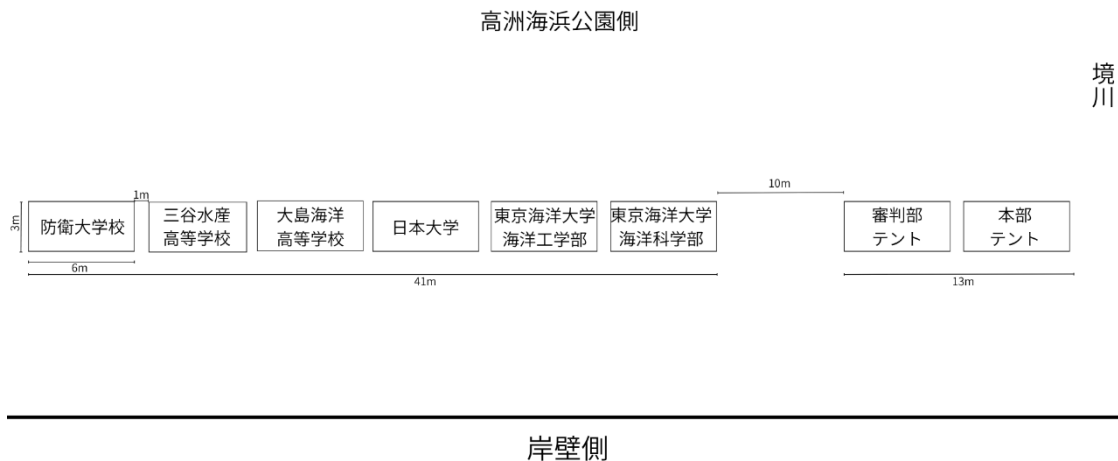
次の各項に該当する行為があったと審判部長が認めた場合は失格とする。ただし、本審判規定における失格とは当該レースのみに関するものであり、その成績は当該レースにおける最下位と位置づけるものとする。

(ア) 「警告」に従わない場合

(イ) ア・ウのブイとスタートライン上の審判班との間を航過しなかった場合

- (ウ) スタートまでにスタートラインを通過した場合及びスタート時に船体の一部でも競技海面に入っていた場合
- (エ) 他艇と接触し、またはオールの一部でも接触した場合
- (オ) 他のコースの回頭ブイを回頭、あるいは回頭方向を間違えた場合
ただし、再度、正規の回頭方法にて回頭した場合は、失格とはならない。
- (カ) 回頭の際、回頭ブイにオール又は艇の一部を接触させた場合
- (キ) 規定の搭載物件を搭載することなく競技に参加した場合
- (ク) 搭載物件を流出し、これを揚収することなく競技を続行した場合
ただし、とう漕中のオールが折損した場合、その一部を有している場合は、流失と見なさない。
- (コ) ゴールライン上のスタート位置旗とクルーザー審判班との間を航過しなかった場合
- (タ) 出場選手名簿と出場選手が違っていた場合
- (チ) その他、不正行為があったと審判部長が認めた場合
ただし、失格行為が不可抗力によるものと審判部長が認める場合はこの限りではない。

(8) テント割り振り図

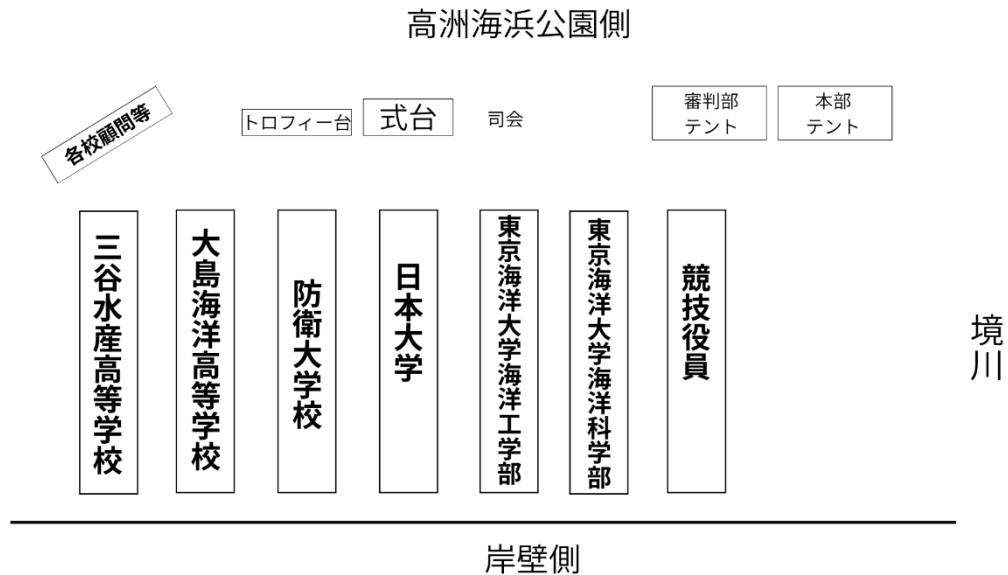


※大会海域付近の遊歩道にテントを立てて控室とします。

1日中、野外での活動になりますので各自、防寒対策をお願いいたします。

(9) 開・閉会式要領

ア 隊 形



高洲海浜公園海岸沿い本部テント前にて実施

イ 開会式式次第

開会式は0900より挙行いたします。

1. 開会宣言
2. 競技委員長挨拶
3. 選手宣誓

ウ 閉会式式次第

閉会式は1500より挙行いたします。

1. 成績発表
2. 表彰
3. 競技委員長挨拶
4. 閉会宣言

(10) 観戦について

大会観戦をご希望される方につきましては、「高洲海岸東端の遊歩道」をご利用の上、ご観戦ください。こちらの遊歩道は、ランニングをする方や釣りをする方が集まる公共の施設です。周囲の皆様に配慮した運営を心がけてまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。

(11) アクセス



大会会場周辺図

・大会参加者及び大会観戦者の会場までの経路

公共交通機関をご利用の場合：

京葉線 新浦安駅から徒歩で 40 分

新浦安駅から東京ベイシティ交通バス 15 系統・18 系統・25 系統で「高洲海浜公園」下車
バス停から徒歩 5 分

自家用車をご利用の場合：

「ナビパーク 高洲海浜公園駐車場」から徒歩 3 分

お問い合わせ
東京海洋大学越中島キャンパス
03-5245-7317(内線 7317)
男子端艇部顧問 松本 洋平